

自殺予防 心はればれ 秋田



これからの自殺予防対策について

平成21年10月13日(火)
秋田県・市町村協働政策会議総会

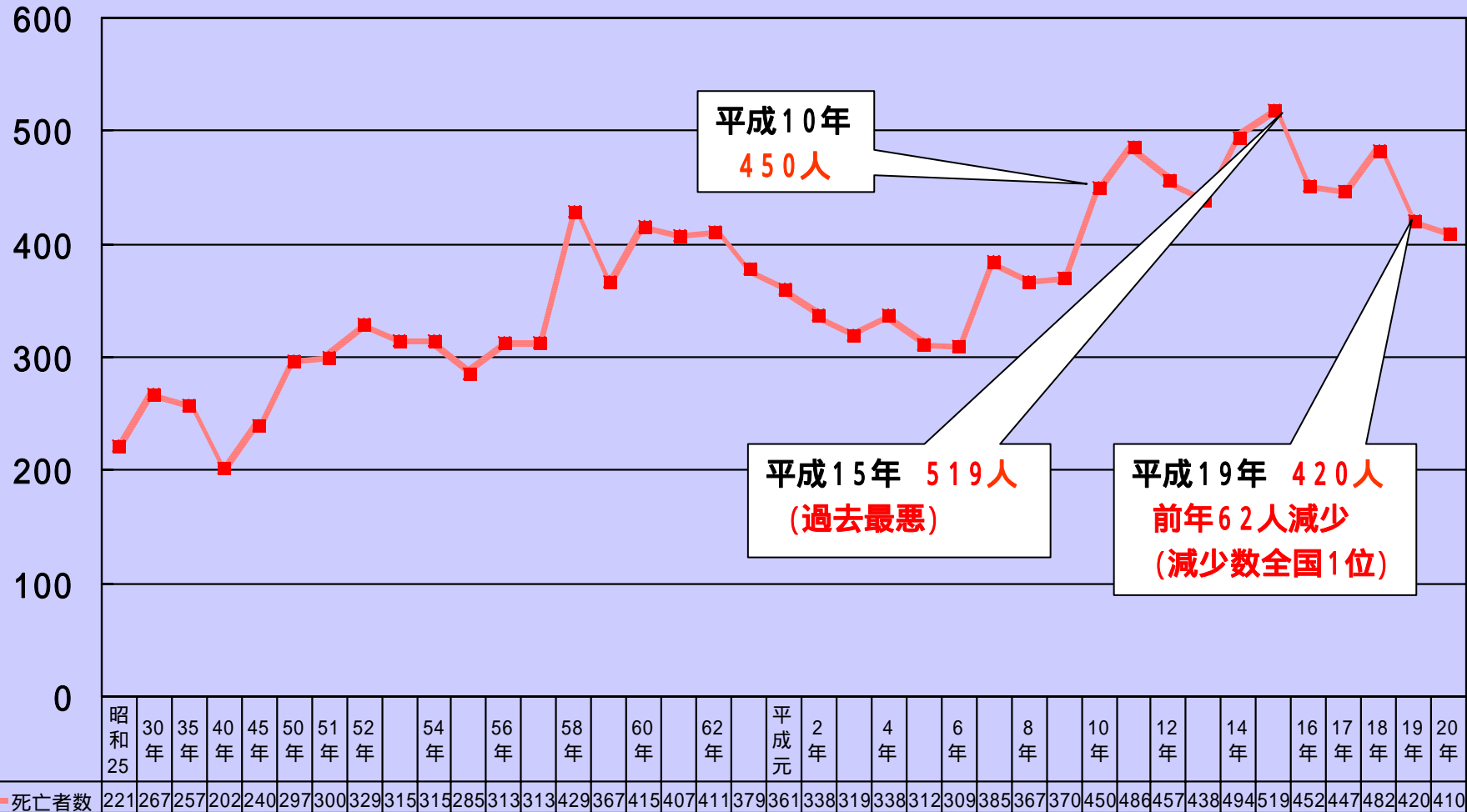


秋 田 県



秋田県の自殺者数の推移

平成10年に自殺者数が400人を超え、平成15年は519人と過去最悪となったが、平成20年には410人と100人超減少している。しかし自殺率全国1位は14年継続(平成7年～)。





自殺予防対策への取組の経緯

県の施策として取り組むことに・・・

- ・健康秋田21計画策定(平成12年度)

自殺予防を重要な健康施策として推進することを明記、数値目標として自殺者数を平成11年486人 平成22年330人に

- ・「命の尊さを考えるシンポジウム」開催(平成12年度)

自殺を社会の問題として捉えることをアピール(約1,000人参加)、翌平成13年度から本格的に施策を展開する契機に

- ・秋田県健康づくり推進条例施行(平成16年度)

県民の心の健康・自殺予防のため、県は市町村等と連携して必要な体制の整備等を行うことを成文化



秋田県の自殺予防対策の全体像

・官・民・学の連携・協力により総合的な対策を推進

基本目標：すべての世代の自殺者の減少

心の健康づくり推進分科会
秋田県健康づくり審議会

庁内連携会議
秋田県いのちを守る

情報提供
啓 発

- 自殺予防キャンペーン
- 各種情報媒体を活用した広報
- 各地での講演会・シンポジウム

相談体制
の充実

- 県内の各種相談機関ネットワーク「ふきのとうホットライン」による連携・自殺の防止
- 地域の関係機関（民生委員など）との連携
- あきたいのちのケアセンターの開設（H19.8）

うつ病対策

- 一般医へのうつ研修、「自殺予防協力医」制度
- うつ講座・うつ病教室の開催

予防事業
の推進

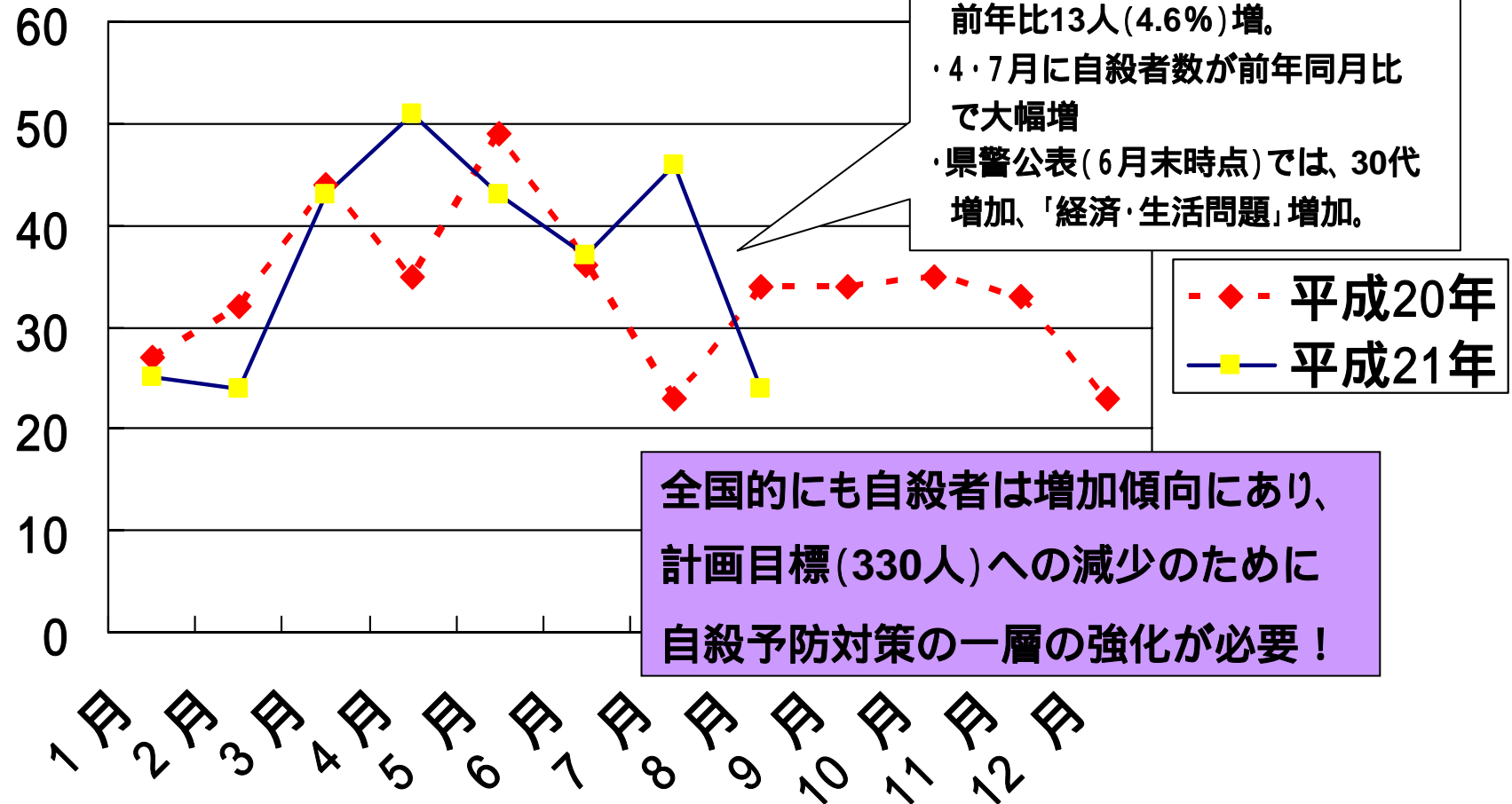
- 市町村による自殺予防対策事業への助成
- 各振興局管内の「自殺予防ネットワーク」
- 民間団体の自殺予防活動への助成

予防研究

- 市町村での地域診断調査（住民アンケート）



県内の自殺者数の動向 (県警本部調べ)



「地域自殺対策緊急強化基金（仮称）」の概要

内閣府配布資料 1

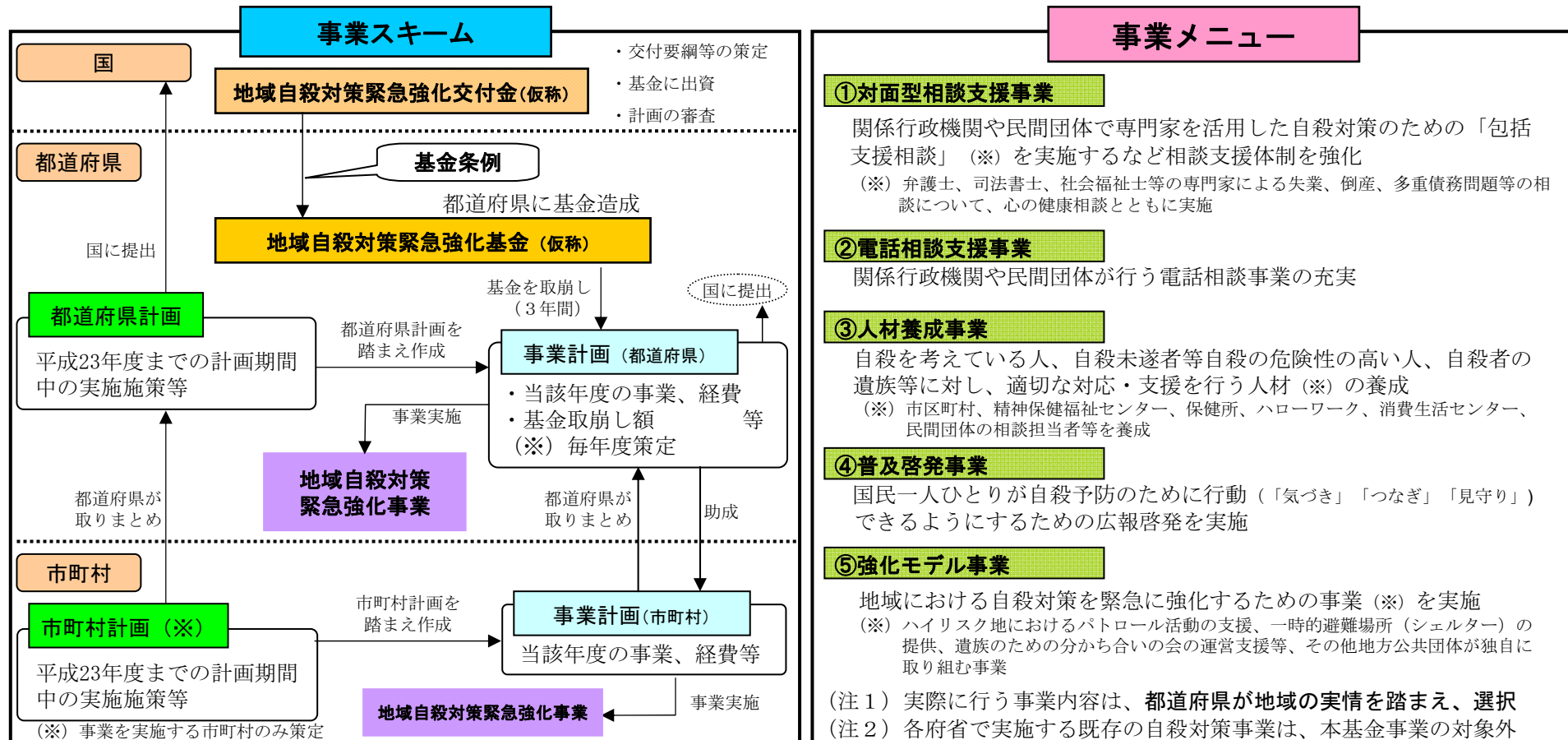
現状と課題

- 自殺者数は、平成10年以降11年連続 3 万人超（平成20年は32,249人〔警察統計〕）
- 現下の厳しい経済情勢を踏まえ、追い込まれた人に対するセーフティネットとして、地域における自殺対策の強化が喫緊の課題

事業の実施

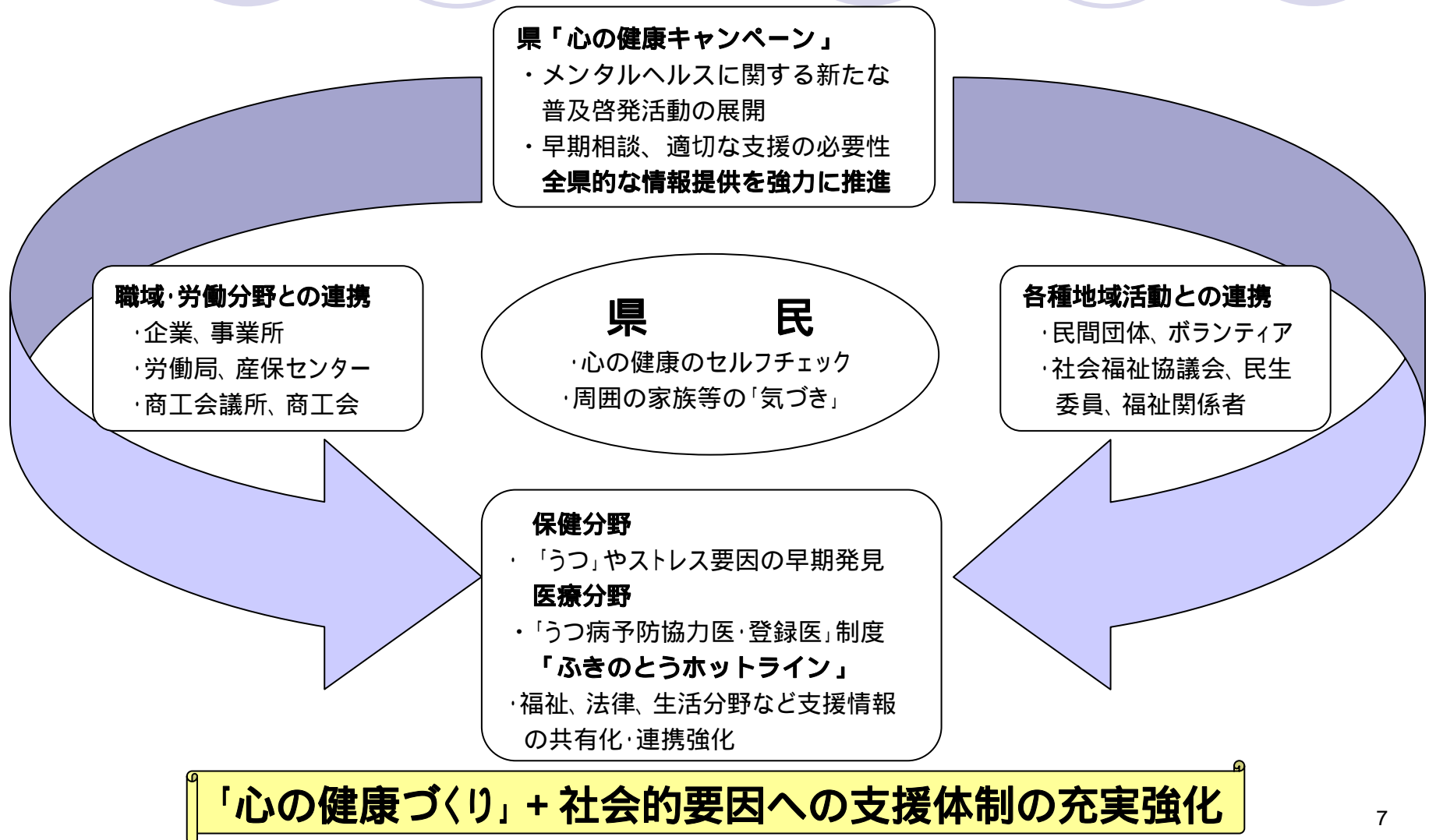
- 都道府県に当面の3年間の対策に係る「地域自殺対策緊急強化基金（仮称）」（※）を造成。相談体制整備及び人材養成等を緊急に実施
- 地域の実情を踏まえて自主的に取り組む地方公共団体の対策や民間団体の活動等の支援により、「地域における自殺対策力」を強化
- 国は事業メニューを提示し、都道府県が地域の実情を踏まえて実施事業を選択するメニュー方式

（※）詳細は調整中【予算額：約100億円（≒47（都道府県）×7千万円×3年間）、補助率：10/10（地方負担なし）、時期：21年度から23年度までの3年間で実施】





秋田県の強化モデル事業(案)について





緊急的な自殺予防対策の取組について

「自殺対策緊急合同研修会(仮称)」の開催

- ・各市町村担当者・専門相談機関等を対象に、公的支援情報の紹介や相談事例の検討などを行う。

経済・雇用情勢が厳しさを増すなか、福祉・雇用・多重債務問題など各種支援窓口の効果的な連携を図る。

あわせて県・市町村・関係機関の連携による相談支援機能の充実・強化を図る。



秋田県の新たな体制について

「秋田県自殺予防対策推進会議」の設置

- ・庁内で目的を共通認識し、各部局の取組を強化するとともに、部局間の情報共有など、連携をより密にして自殺予防対策を推進する。

議 長：知 事

副議長：副知事

構成員：県警本部長、教育長、各部局長



今後の自殺対策の推進に向けて

あらためて「自殺を防ぐ」目的意識の
共有・徹底

「心の健康づくり」に加え、経済問題等の
社会的要因への支援体制の充実

基金を活用し、地域の民間団体への
支援・連携の強化